

・電子地域通貨事業について

・ふるさと納税について



新風新政会
いけしま としあき
池島 利明



詳しい内容は
こちら

1 項目目は、電子地域通貨事業です。デジタル技術が急速に発展する中、デジタルは地方の社会課題を解決する鍵であり、新たな価値を生み出す源泉となっています。本市においても、デジタル技術を最大限に活用しながら、地域の個性を生かしたまちづくりを進めることで、持続可能で活力のある未来社会の実現を目指す必要があります。本事業は、デジタルを活用したまちづくりの一つであります。市内経済の活性化が図れ、市民や事業者が共に事業の恩恵を享受できるシステムが求められます。策定内容や現在の考えなどについて伺いました。

2 項目目は、ふるさと納税です。応援したい自治体へ寄付ができる制度ですが、歳入の確保に有効的な事業であり、事業者への応援や販路機会の創出による地域活性化へもつながる事業です。寄付増加に向けての本市の取り組みなどについて伺いました。



電子地域通貨の決済イメージ

・地方分権の「今」と今後の課題について

・熱中症の予防と対策について

1 項目目の地方分権の「今」と今後の課題についてです。国会が地方分権の推進を決議して31年が経ちます。今日、多くの自治体で人口減少が深刻さを増しており、自治体の関心もさらなる自治の拡充よりは、自らの持続可能性の確保へと向かいがちです。そうした中、先の国会で大規模災害など非常時に地方自治体への国の指示権を拡大する改正地方自治法が成立しました。そうしたことから、これまでの分権改革の歩みや本市の取り組みを通して、地方分権の「今」と今後の改革に向けた課題について質問しました。

2 項目目の熱中症の予防と対策に

ついてです。気象庁によれば1990年代以降、最高気温が35℃以上の猛暑日や最低気温が25℃以上の熱帯夜の日数が増加しています。今年も早い時期から真夏日になっている所もあり、今後さらに暑さが厳しくなり最高気温が40℃を超える日も珍しくなくなる可能性もあります。熱中症へのより積極的な予防と対策を取らなければ、市民の暑さによる健康面のリスクが高まります。そのため、行政による熱中症対策はもとより、企業や団体等と連携した対策について質問しました。

その他、病児保育について質問しました。



清風クラブ
まつもと つぎ お
松本 次男



詳しい内容は
こちら